

四和小学校の誕生まで

1 名和尋常小学校誕生

明治5年（1872）年，学制発布により，子どもたちは学校に通うこととなりました。まだ，三才（さんさい）区には人は住んでいなかったようです。当時の小名木村と和良比村の境付近に「長戸路」という地名がありました（現在の和良比 282 番地付近と言われています）。そこに，明治 18 年（1885）年，名和（なわ）尋常小学校がつけられました。校名は，小名木（おなぎ）の“名”と，和良比（わろうび）の“和”をとってつけられ，両村の子どもたちが通いました。

2 校舎の倒壊，そして四和仮校舎の建設

明治 35 年（1902）年 9 月 28 日の暴風雨により，名和尋常小学校は校舎が倒壊してしまいました。やむを得ず，翌年名和尋常小学校は廃止になり，小名木の子どもたちは山梨の学校（現旭小学校）に，和良比の子どもたちは畦田の学校（現四街道小学校）に分かれて通うことになりました。名和尋常小学校の跡地は昭和 50 年頃まで畑になっていました。

山梨の学校への道は深い山道で，畦田の学校への道も昼間でも暗く，なおかつ鉄道線路（現在の JR 線）を横切ることも心配であったため，明治 45 年（1912）年 3 月に，地域の人たちが力を合わせて村の所有地（現在の四和小学校の敷地）に，自分たちで材木やお金を出し合って，子どもたちのために学校を建てました。四街道駅周辺地域と和良比の子どもたちのための学校ということで，“四和”仮校舎と呼ばれ

ました。大正 2 年（1913）年 8 月には、四和小学校記念碑も建立されました。

しかし、当時は、学校の設立がなかなか認可されなかったため、地域の方々が自ら教師をさがし、教師の給料分も含めた教育費を支払うなど、子どもたちのために力を尽くしてくださいました。雨の日には、村の大人たちが交代で勉強を教えたこともあったそうです。当時の児童数は、全校で三十名ほどでした。大正 9 年 1 月 8 日付けで、四和仮校舎は旭尋常高等小学校四和分教場となりました。1～4 年生は分教場で学び、5～6 年生は旭小学校に通ったそうです。

3 旭村立四和国民学校へ

四街道は、陸軍の砲兵射撃学校がおかれるなど、軍隊のまちとして人口が急増したため、四和分教場も、昭和 16 年（1940）年には、児童数が二百数十名となり、6 年生までと一緒に学ぶ旭村立四和国民学校となりました。

4 附属小学校、そして中央小学校へ

昭和 20 年（1945）年、千葉市の空襲で爆撃を受け、壊滅してしまった千葉師範学校女子部が、終戦後に四街道の軍隊のあとに入るここととなりました。しかし、師範学校に必要な附属小学校の児童に困ったため、四和学区の子どもたちを移管して、附属小学校の児童とすることになりました。昭和 21 年（1946）年 3 月をもって旭村立国民学校四和校舎は閉鎖され、子どもたちは千葉師範学校女子部附属小学校の児童となりました。なお、閉鎖により使われなくなった校舎など

は、新制旭村立旭中学校に提供されました。

その後、旭村と千代田村が合併して四街道町となり、旭中学校は千代田中学校と統合されて四街道中学校となったため、昭和 36 年（1961）年 4 月には、県立佐倉東高等学校四街道分校が四和校舎に入りました。その後、昭和 41 年（1966）年 4 月に県立四街道高等学校が四和校舎跡に開校し、四和校舎では高校生が学びました。

終戦後、新制千葉大学が発足し、昭和 25 年（1950）年には、文部省令（当時）により、千葉師範学校女子部附属小学校は、千葉大学教育学部附属第二小学校と学校名が変わりました。

昭和 41 年（1966）年、附属第二小学校は千葉市稲毛区弥生町に移転し、跡地には、四街道町立中央小学校が開校しました。四和学区の子どもたちは、附属第二小学校から中央小学校に移管され、中央小学校に通うことになりました。

5 四和小学校の“復活”

町の人口が増え、昭和 40 年代後半には中央小学校の児童数が千二百人を超えたこと、さらに、昭和 49 年（1974）年に四街道高等学校が現在の敷地に移転したため、昭和 51 年（1976）年 4 月に四街道町立四和小学校として中央小学校から分離新設されました。

四和小学校の敷地は民有地であり、学校建設の予定がなければ、いずれは宅地になってしまうはずでした。しかし、地域住民の方々が子どもたちのために建てた“四和”仮校舎から 70 余年、子どもたちのことを想う気持ちは脈々と受け継がれ、四和小学校建設の誓願署名を募る趣意書には、『四和小学校新設（復活）』と、あえて“復活”の二

文字が記されていたそうです。

四和小学校が開校した後も、校舎・校庭の周辺環境整備、砂場や遊具の造成、体育館の敷地取得、第2グラウンドの敷地提供等々、時代の移り変わりの都度、各方面で地域住民の方々が温かい気持ちで、全面的な支援をしてくださいました。

平成30年度現在、四和小学校は開校43年目ですが、“名和小学校”時代から脈々と続く『子どもたちの幸せが一番大事』と考えてくださる地域の皆さんの想いに感謝し、これからも発展し続けられるよう、職員一同全力を尽くしてまいります。

【参考資料】

四和小学校広報「よつわ」創立十周年記念号

四和小学校創立二十周年記念誌

四和小学校創立三十周年記念誌

